

## 大会基本規定事項（保護者・指導者のみなさまへ）

下記の事項が守られない場合には、該当チームに**没収試合**等の厳しい処置が下される。

項目	事項
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>各チーム5台までとする。（指導者・帯同審判も含む）駐車券は発行しない。</li> <li>役員駐車場とチーム駐車場が区別されている場合は従うこと。</li> <li>小学校会場などで駐車可能時刻を設定する場合は、その時刻に従うこと。（駐車場当番あり）</li> </ul>
開場 (入館開始)	<ul style="list-style-type: none"> <li>開場時間は、試合会場ごとに異なる場合があるので審判割に記載するので確認する。</li> <li>開場時間以前に到着しても、入館することはできない。ただし、役員・会場準備チームはこの限りではない。外でのアップは空いているスペースでもよいが、けがや事故等の責任を主催者はとらないので各チームの判断の下に行うこと。</li> <li>各会場での荷物置き場は、譲り合って使うこと。また2階に観客席（座席）がある場合1列目と2列目は試合を行うチームの応援席とするので、荷物置き場として使用しないこと。</li> </ul>
靴	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館シューズ（バスケットシューズ）と外ばきシューズは区別すること。</li> <li>チームの外ばきは、かごやビニール袋等を使って各チームで管理すること。保護者の靴も同様である。靴箱は使用しない。</li> <li>フロアに入るときは、必ず体育館シューズ（バスケットシューズ）を着用すること。</li> </ul>
会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>各会場にて準備開始時間が異なる為、審判割の時間にて行う。なお、会場ごとに開始時間が異なる場合がある。またフロアでの練習は会場準備ができ次第とする。</li> <li>体育館のはしごに登る等、危ない行為は絶対にさせないこと。</li> <li>各会場、指定された場所のみで応援すること。なお、鳴り物は禁止とする。</li> <li>会場での火気の使用やコンセント等の無断使用は厳禁である。</li> <li>トイレを使用する場合は、選手、保護者ともに、備えつけのスリッパに履き替えること。ただし、シューズ用スリッパを使用する場合は除く。</li> <li>各会場の使用上の注意を年間共通理解事項に掲載している。</li> </ul> <p>チームで出したゴミ（弁当殻、飲み物、たばこの吸い殻など）はチームで必ず持ち帰ること。放置厳禁。特に、業者に弁当を注文し、弁当殻を回収に来る際は必ず手渡しをすること。如何なる理由があっても放置して帰ることは許されない。</p> <p>※以上の点を守られていない場合、今後会場を使用できないことも考えられます。</p>
大会本部 指導者控え室	<ul style="list-style-type: none"> <li>常駐できるのは、大会役員とライセンス ID を身に付けた指導者のみである。保護者の不要な出入りは禁止する。（役員チームはこのかぎりではない。）</li> <li>朝・帰りの大会本部・指導者控え室のチーム挨拶は不要。</li> </ul>
受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者またはチーム代表者は、来場したら各会場の本部で受付を行い、IDを受け取ること。</li> <li>帯同審判・コミッショナーは、氏名を申告し必ず印鑑（シャチハタ不可）を持ってくること。</li> <li>審判は、その日のうちに審判謝金を受け取ること。（翌日以降は支払わない。）その際、旅費日当精算書に、氏名（自署）と住所を記載し、謝金と引き換えに受領印を押印すること。</li> </ul>
代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日の朝代表者会議は行わない。ホワイトボード又は連絡用テーブル等に注意事項を提示するので、受付時に代表はメモをとったり写真を撮ったりして確実にチームに周知すること。</li> </ul>
ID	<ul style="list-style-type: none"> <li>アリーナ内に立ち入る際は、必ず配布されているライセンス ID（コーチライセンス ID、審判ライセンス ID）又はチーム ID を身につけること。なお、アリーナ内に常駐できる者は、大会役員とライセンス ID を身に付けた指導者である。</li> </ul>
メンバー変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンチ入りできるのは、パンフレットに記載している者である。変更する場合は変更箇所を赤色で記入すること。なお、選手ではない中学生以下は、パンフレットに記載があってもベンチ入りはできない。</li> <li>メンバー変更があった場合は変更届を本部へ代表者会議前に提出し本部のホワイトボード又は連絡用テーブル等に掲示する。これにより対戦相手への提出は不要とする。確認できるのは指導者のみ。</li> </ul>

項目	事項
スタート チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェック表は1クォーターに出る選手に○をつけて、コーチが直筆でサイン記入し、指導者が提出時間までに提出する。</li> <li>提出時間は自チームの試合の前の試合の開始時間にする。ただし、第1試合のチームの提出時間は第1試合の30分前である。</li> <li>スタートチェック表の提出後は、変更は認めない。ただし、自試合までの間に選手が出場不可となった場合はこの限りではない。</li> </ul>
ベンチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>試合中の水分補給は、ベンチ入りが認められている20名すべて、必ずシート上の椅子に着席した状態で行う。また、水の入ったバケツのフロア（ベンチを含む）への持ち込みは不可。</li> <li>ベンチエリアからのビデオカメラやiPad等での写真撮影や動画撮影は認めない。また、観客席から撮影した動画をネット上に公開することも認められない。</li> <li>お世話係は廃止する。</li> </ul>
TO	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOの際にはルールを熟知した指導者もしくは保護者が子どもたちの後方に必ず立つ。</li> <li>試合前にライセンスを所有しているTO主任若しくは審判は、当該試合のコーチのライセンスIDの確認を行う。</li> </ul>
審判	<ul style="list-style-type: none"> <li>1チーム（男女別）につき1名、帯同審判を必ず出す（兼任はできない）。</li> <li>ライセンスはD級以上、または、審判委員長がその技術を認めたE級とする。</li> <li>試合当日帯同審判を出せなかった場合は、大会の参加資格の要件に抵触することから<b>没収試合</b>とする。チームに該当者がいない場合は、そのチームの責任で前述のライセンス以上の帯同審判を確保する。帯同審判はチームの勝ち負けに関わらず、大会全日程で審判ができる者に限る。</li> <li>審判の配置は県協会U12部会審判部がその原案を作成し、県協会審判長の承認のもとに行う。</li> <li>各会場の審判主任は、審判長の許可が必要になるが当日の審判割当を変更できる権限を持つ。</li> </ul>
コミッショナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則はJBAから出ている「マンツーマンディフェンスの基準規則」に則る。</li> <li>コミッショナー委員及びマンツーマン講習会を受講し、かつコーチライセンスを所持した各チームの指導者・保護者が行う。ただしコミッショナー委員長がその技量を認めた者は、コミッショナーを行うことができるものとする。</li> <li>各会場のコミッショナー主任は、当日のコミッショナー割当を変更できる権限を持つ。</li> </ul>
試合球	<ul style="list-style-type: none"> <li>5号人工皮ボールを使用する。</li> <li>各チーム持ち寄りとし、審判が試合球に適したと判断したボールを使う。</li> </ul>
試合	<ul style="list-style-type: none"> <li>審判割の左側のチームを淡色のユニホーム着用とし、ベンチはTOに向かって右側とする。2試合目以降同じ色のユニホームを着用する場合は、両チーム間の話し合いで変更しても良い。ただし、ベンチは色に関係なく審判割の通りとする。</li> <li>試合が定刻を過ぎた場合、10分後に次の試合を開始する。</li> </ul>
頭部外傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>試合中に選手が頭を打った場合、審判は直ちにプレイを中断する。</li> <li>頭部外傷をした選手は、当日はプレイできないものとする。</li> </ul>
熱中症	<ul style="list-style-type: none"> <li>フープスターサカイカップに限り、クォーター間を2分とする。（冷房設備を使用している会場や天候等によっては、クォーター間を1分にするところもある。）</li> <li>指導者は試合前の練習やウォーミングアップ、試合中のタイムアウトやクォーター間において、積極的に給水をさせる。</li> <li>チームは、屋外での練習時の帽子の着用や氷のうや濡れタオル等の冷却器具の活用、飲料水の十分な確保などの熱中症対策を講じなければならない。</li> </ul>
その他	

付則

2019年7月 大会基本規定事項作成

2019年9月7日「大会本部・指導者控え室」「代表者会議」の追加、「お世話係の廃止」（2019年秋季大会より実施）、審判主任及びC O主任の権限の追加、公営体育館の駐車可能時刻の撤廃。